

～はじめに～

川崎市議会アジア海外視察団では、10月20日から28日までの日程で、シンガポール、ベトナム、中国の3か国を訪問し、視察を実施した。

視察の実施に当たっては、「市政の課題の解決に資するとともに、市民生活及び市政の発展に寄与する」という視点で、視察テーマや内容を決定するとともに、環境の変化が著しいアジアの注目国について可能な限りの専門家からの知見を活用し、一切の偏向や既成概念にとらわれることなく川崎市にとって役立つことを積極的に取り入れることを視察団で確認して視察に臨むこととし、視察における準備として以下の勉強会を実施した。

●第1回勉強会

テーマ：「ベトナムの国情や近年の日本との関係性について」

講師：A Z E C（アジア・ゼロエミッション共同体）担当大使

山田 滝雄 氏

ベトナムは今や技能実習生の国ではなくメタ、グーグル、エヌビディアなど世界が注目するITやハイテク人材の宝庫であり、アメリカの前バイデン大統領も訪越するほどの人材争奪の渦中にあるこ

と、スタートアップ企業もアウトソーシングのパートナーとして、世界各国からの投資が近年集まっておりアジアの中でも急成長が注目されていること、また、指導者が一新して国を挙げての腐敗撲滅を実践しており、安定的な政治体制を築いていること等を学習し視察に向けた準備とした。

●第2回勉強会

テーマ：「いま、中国をどう見るべきなのか」

講師：一般社団法人アクション5代表理事 福田 高幹 氏
(元外務省職員で中国に精通されている方)

日本人の中国に対する基本認識が「非柔軟化」している背景について、反日デモや尖閣をめぐる問題など外交に関する考え方、中国への特派員減少や中国におけるSNS遮断の状況など日本側のメディア構造、訪中者の全方位的な減少状態、対中投資の減少などの説明があった。

対して、中国人の対日認識「柔軟化」の説明があり、日中は今後とも切っても切れない関係性をもつ環境にあることなどを認識することができた。

以上のとおり、勉強会の講師のお二人には、その豊富な知見をも

って、ベトナム及び中国に関する講義をしていただき、前もってこれらの認識や課題の整理をすることができ、非常に有意義な準備を行うことができた。

また、視察の実施に当たっては、各団員がそれぞれ入念な事前準備を行い、視察を効率的・効果的に実施することができた。各視察先の詳細な報告は本報告書にまとめられているので、ご覧いただきたい。

最後に、視察の実施に当たり、様々な場面でご協力をいただいた関係者の皆様に、この場をお借りして深く感謝申し上げたい。

川崎市議会アジア視察団 団長 雨笠 裕治